

ま え が き

令和8年度大学入学共通テストは、176 国公立大学、511 私立大学、12 公私立専門職大学、113 公私立短期大学、1 私立専門職短期大学が入学者選抜で利用しており、本試験を令和8年1月17日・18日に650 試験場で、追・再試験を1月24日・25日に11 試験場で実施しました。受験者数は464,090人で、今回も多くの関係者の方々に御協力いただき、その御蔭をもちまして大きな事故もなく完了することができました。

独立行政法人大学入試センターでは、大学入学共通テストの試験問題の評価・分析を行うために、「大学入学共通テスト問題評価・分析委員会」を設置しております。当委員会は、高等学校教員等から成る「外部評価分科会」と、試験問題を作成した問題作成部会委員から成る「自己点検・分析・評価分科会」の二つの分科会で構成されております。また、この委員会とは別に、各試験科目に関連が深い関係教育研究団体にも意見・評価を依頼しております。

令和8年度大学入学共通テストの終了後、試験問題の内容・範囲、分量・程度、表現・形式等について、「外部評価分科会」及び関係教育研究団体から意見・評価をいただきました。そしてこの度、これらの意見・評価をふまえた「自己点検・分析・評価分科会」の見解を付して、「令和8年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書」を作成いたしました。本報告書の内容は、今後の大学入学共通テストにおける試験問題の作成に寄与することはもちろん、各大学の入学者選抜における試験問題の作成でも参考にさせていただけるのではないかと考えております。また、高等学校教育における各教科・科目の参考資料としても御活用いただければ幸いです。

大学入試センターとしては、大学入学共通テストの試験結果等を十分に分析、研究するとともに、本報告書に掲載されている意見をはじめ各方面から寄せられた御指摘も参考にして、より良質な試験問題の作成に取り組んでいく所存であります。

今後とも各位の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和8年6月

独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括官

大学入学共通テスト問題評価・分析委員会委員長 佐久間 淳一